

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習 I - 2		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高木 大輔 他	D315	d.takagi	火曜日 10:30~12:10		
授業の目的・概要	基礎医学知識 (骨・筋解剖) は、理学療法評価と治療を実施するにあたり必要不可欠である。そこで理学療法演習 I -2では、筋解剖を中心に理学療法評価ならびに治療に必要な骨・筋の名称・部位ならびに触診技術を同時双方型授業、面接授業で高めることを目的とする。まず理学療法評価ならびに治療に必要な筋の名称、起始停止を踏まえた筋の部位、触診方法について同時双方型授業などで説明し、その後面接授業で触診技術を高める。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	トートラ 人体の構造と機能 第4版/編訳:桑木共之、黒澤美枝子、高橋研一、細谷安彦/丸善株式会社 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版/監:青木隆明/著:林典雄/メジカルビュー/2012 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版/監:青木隆明/著:林典雄/メジカルビュー/2011 [3冊指定、後期の理学療法演習 I -2でも使用]				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	筋解剖に関する知識を習得し、筋の名称、位置関係、起始停止を説明できる。			PT (3)	
②	筋の触診技能を習得し、触診した筋の名称を説明できる。			PT (3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「頭部・体幹」 骨・筋の名称と触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	講義、実技	頭部・体幹、上肢、下肢の骨・筋を教科書、配布プリントで再確認する。	4	
2	「上肢」 骨・筋の名称と触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	講義、実技			
3	「下肢」 骨・筋の名称と触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	講義、実技			
4	「頭部・体幹、上下肢」 骨・筋の名称と触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	講義、実技			
5	上肢の筋の起始停止、触診方法を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	上肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認する。	1	
6	「上肢の筋①」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	上肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
7	「上肢の筋②」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	上肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
8	下肢の筋の起始停止、触診方法を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	下肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認する。	1	
9	「下肢の筋①」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	下肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
10	「下肢の筋②」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	下肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
11	「下肢の筋③」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	下肢の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
12	体幹の筋 (頸部周辺) の起始停止、触診方法を学習する。 「担当:高木」※1	同時双方型授業	体幹の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認する。	1	
13	「体幹の筋①: 頸部周辺」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2	講義・実技	体幹の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。	1	
14	体幹の筋 (肩甲帯周辺) の起始停止、触診方法を学習する。 「担当:高木」※1	同時双方型授業	体幹の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認する。	1	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

15	「体幹の筋②：肩甲帯周辺」 起始停止、触診を学習する。「担当:その他の教員」※2		講義・実技	体幹の筋の起始停止、触診方法を教科書、配布プリントで確認し、触診の練習をする。			1
試	定期試験（達成度評価・評価のポイント参照）						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力		100	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力		0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	0	0	0	0
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	レ	1. 学期末に定期試験を実施して評価をする。試験は授業中に使用した教科書、配布プリントの内容に基づいて図問題や起始停止の記述などで出題し、理解度を問う（筆記試験、100%）。				必要に応じて解答を提示し、解説を行う。
	②	レ					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎高木 大輔、三科 貴博、粕山 達也、関口 賢人、池上 諒、遠藤 悠介、駒形 純也、玉木 徹、大塚 篤也、坂本 祐太</p> <p>※1 遠隔授業において全体で実施する。</p> <p>※2 担当教員ごとにグループに分かれて指定された教室で活動する。</p> <p>教員の実務経験：理学療法士として7年の臨床経験あり。</p> <p>実践的授業の内容：実際に担当した症例を通して学んだ触診の方法などを提示する。</p> <p>授業時のフィードバック、意見交換：同時双方向型授業におけるフィードバック、意見交換の機会は授業時間内に実施する</p> <p>*面接と遠隔授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めません。遠隔授業は Teams などを使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</p> <p>今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</p>							